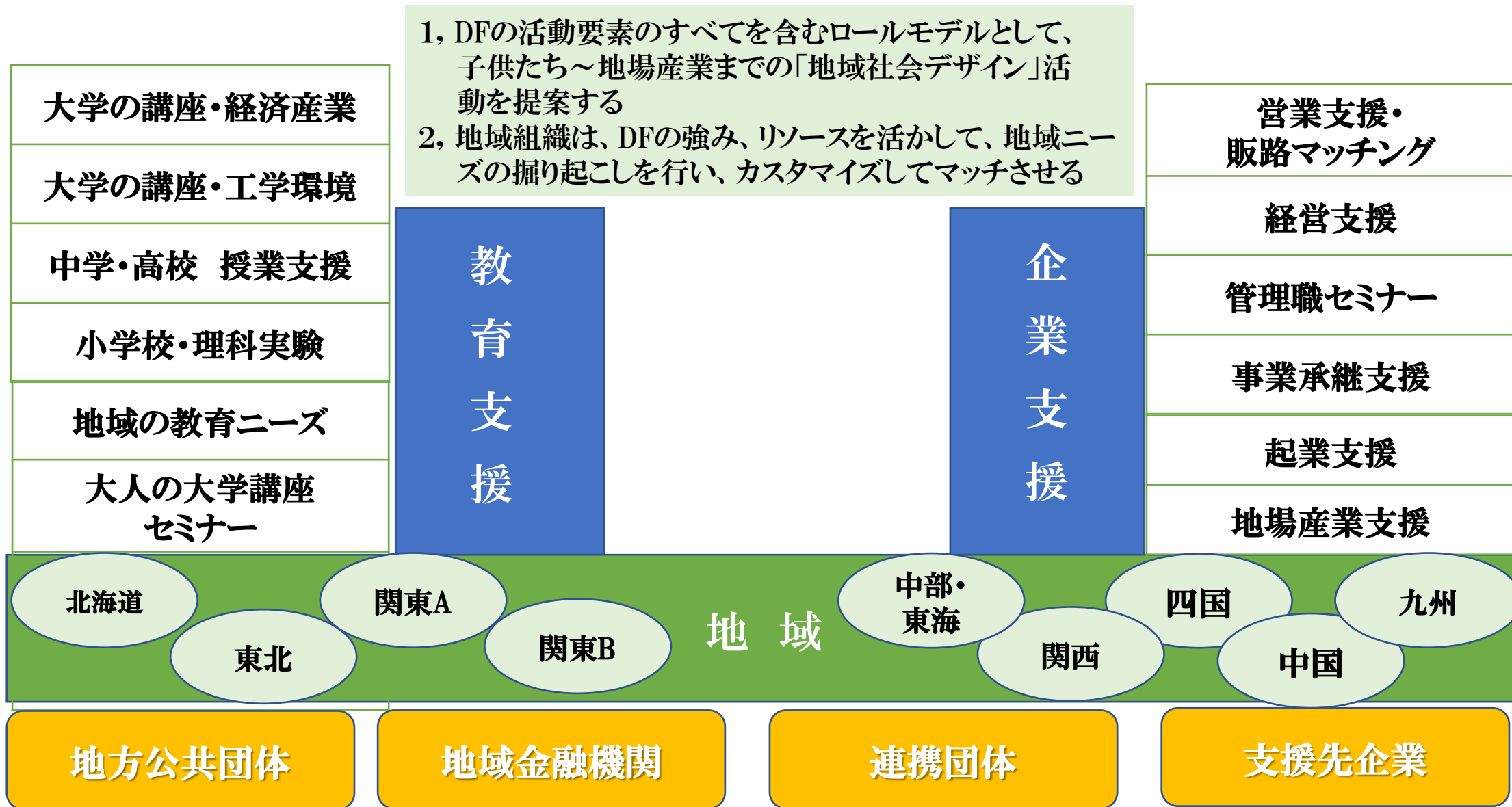




DF地域デザイン総研の紹介


240206MFujimura

地域社会デザインコンセプトイメージ



*ブロックはイメージ

教育支援
(教育関係の方へ)



アカデミーグループ (大学・リカレント)

理科実験グループ

授業支援の会

企業支援
【企業関係の方へ】



企業支援グループ

コンサルティンググループ

エグゼクティブサーチ事業部

地域デザイン総合研究所



地域デザイン総合研究所

部会・研究会

同好会

DFの強味・弱味

- ・ 随一の組織
- ・ 常時活動は1/3
- ・ 更なる飛躍



牧野教授
X DF資産
⇒
地域貢献

地域デザイン研究所体制

所長：牧野

ステアリングコミュニティ
段谷、平尾、水野、高橋、近藤、織田、保坂、藤村

メンバー

教育 戸田、理科実験、中高生：小島、山形、大学他：矢島
観光立国 市古、佐々木一成
公官庁 岡田、平田、近藤
企業支援 織田、田崎
超高齢社会他 牧野義司、大崎、得丸、小林、

地区リーダー

柏市：宮崎

茨城：岡田

島根：段谷

鎌倉：菅原

岡山：木口

高知：嘉屋

プロジェクトリーダー

これまでの勉強会

12月8日 地域デザイン総研第1回勉強会 牧野篤教授

講演「人は何が大切なのか —ウェルビーイングな人と社会のために—」

1月19日 地域デザイン総研第2回勉強会 朝倉昌也会員

「重点支援DMO 株式会社まちづくり小浜の地域デザイン」

2月15日 地域デザイン総研第3回勉強会 熊坂俊彦教授

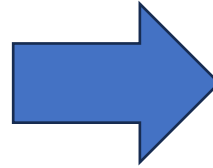
「循環型地場産業の創造 —持続可能な地域産業つくりに向けて—」

3月7日 地域デザイン総研第4回勉強会 山本尚史教授

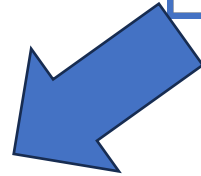
「地域経済を賑耕するエコノミックガーデン」

企画段階から実施への移行イメージ

候補案の提案検討
企業・教育・公共自治体
等からの提案
具体的には
行方市、つくば市、北杜市
地域ブロック会議



実施可否決定機関（SC）
・地域にとっての意義
・DFにとっての意義
・投資採算
・実施体制



プロジェクトチーム登録
・メンバー公募他
・フォロー体制

- 八幡平市のホースケア⇒マッシュルーム栽培の事例
- みらいワークス福島プロジェクト

牧野篤氏（東京大学）集中講義「社会をつなげる公民館へ」

YouTube

YouTube · 【公式】月刊公民館ちゃんねる · 2022/11/01

The image shows a YouTube video player interface. At the top left, there is a profile picture of the speaker and the video title: 牧野篤氏（東京大学）集中講義「社会をつなげる...」. To the right of the title is a share icon and the text 'リンクをコ...'. Below the title, there is a notification banner for COVID-19 information. The main video area shows a speaker in a dark suit and glasses. Overlaid on the video is a text box with the following content: '働き方が大きく変わる', 'マルチステージ', 'パラレルキャリア', '雇用から委託契約へ', and '100年学び続ける力を'. At the bottom of the video player, there is a progress bar showing 53:15 / 2:56:23, a play button, a volume icon, and the YouTube logo.

再生位置

- 06:44 社会をつなげる・伝えていく
- 09:55 社会に開かれた教育課程とは
- 28:21 民主主義の訓練場
- 28:39 公民館の役割3文化交流の場

愛知県出身。名古屋大学大学院修了。博士（教育学）。専門はもともと中国近代教育思想、今はそれに加えて**社会教育・生涯学習**を担当。日本の**まちづくり**や**高齢化と過疎化問題**、中国・台湾のコミュニティ教育・少子高齢化問題などに関心がある。最近では、自治体と一緒に公民館や生涯学習の共同調査を行ったり、多世代交流型コミュニティの構築を進めたり、さらには企業と一緒に「ものづくりの社会化」プログラムなどを運営している。ざわざわとした雑踏のような研究室で、学生・院生ともども、がやがやと調査に出かけています。

地域住民の「誇り」を再生し 3つの空洞化を防ぐ

住民自身が住み続ける誇りを
失う・意義を見い出せない



大人の発する地域・生業を
否定する言葉



子供に受け継がれる



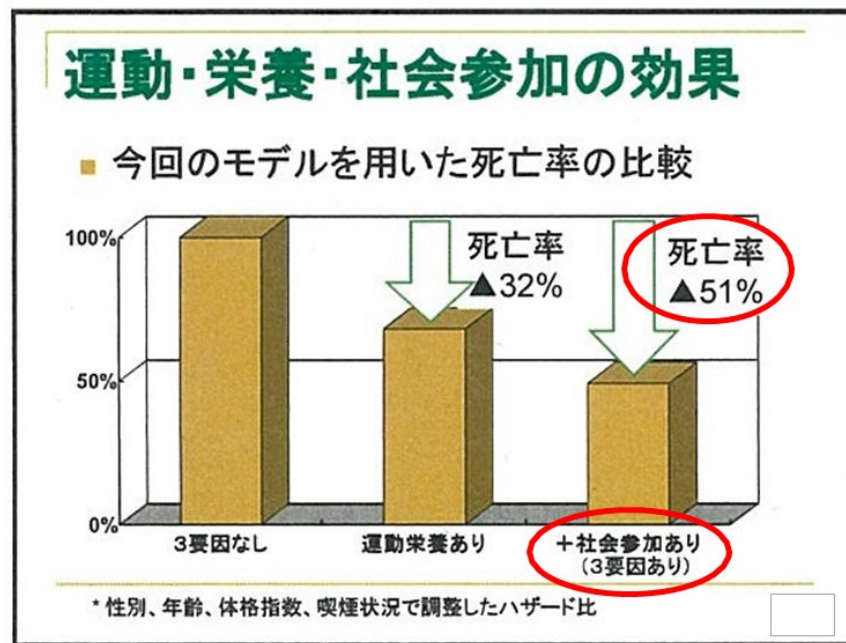
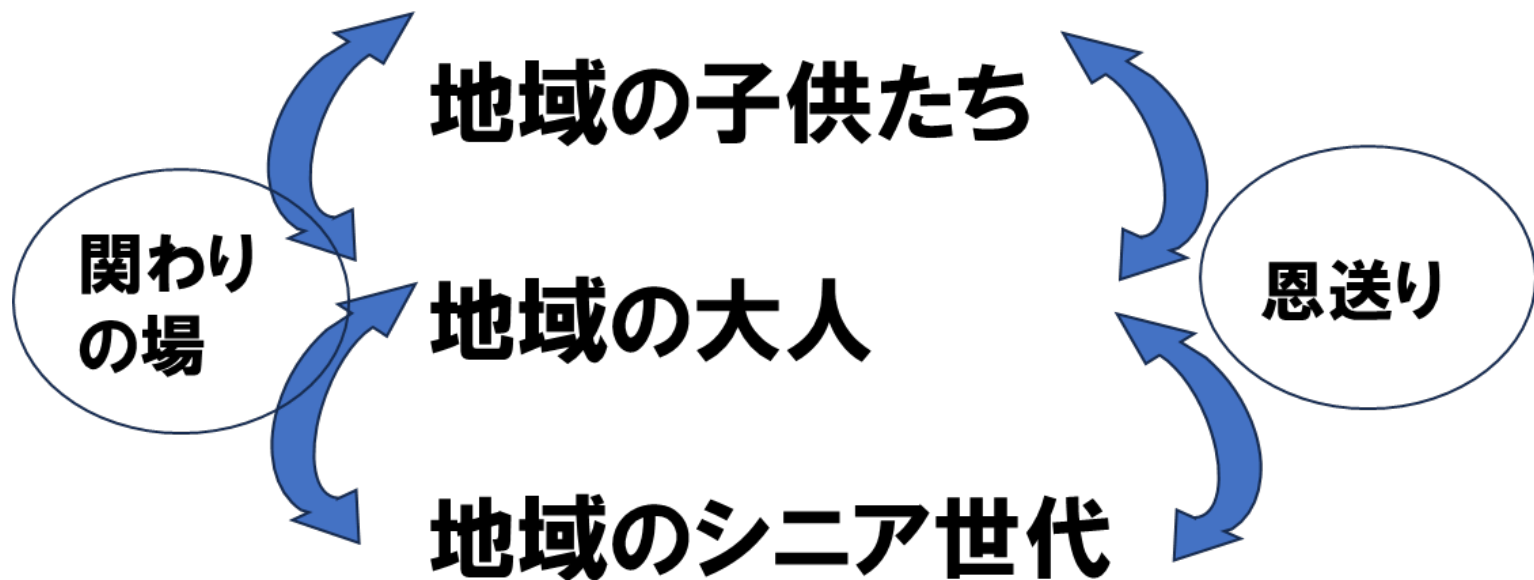
連鎖



「誇り」の空洞化

人の空洞化
土地の空洞化
ムラ(集落機能)の空洞化

東大教授 牧野篤
兼
DF地域デザイン研究所長



出典:「静岡県高齢者コホート調査に基づく、運動・栄養・社会参加の死亡に対する影響について」
2012年、東海公衆衛生学会、平山朋他

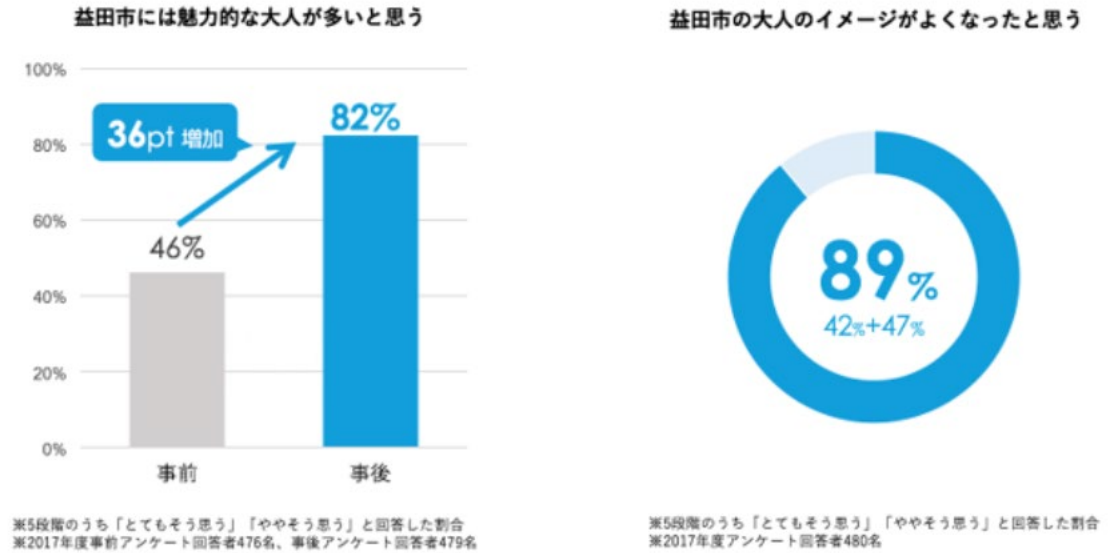
島根県益田市 × NPOカタリバ 「ライフキャリア教育」 で、人との繋がりを再構築する

<https://www.katariba.or.jp/activity/project/masuda/>



- 1つ目：中学校カタリ場、大人が中学生に対話です。
- 2つ目：高校カタリ場、大人が高校生と語るです。
- 3つ目小学校カタリ場、高校生がロールモデルとなる

カタリ場プログラムを通して生まれた、子どもたちの益田市の大人へのイメージの変化



カタリ場プログラムを通して生まれた、子どもたちの益田市への想いの変化

「益田人100」を軸としたライフキャリア教育の流れイメージ図

「益田人100」を軸としたライフキャリア教育の流れイメージ図

○保幼・小・中・高など、すべての年代を通じて、活動の軸に「ライフキャリアを体現しているひと（益田人100）」との出会いを位置づけるプログラム。
 ○子どもたちが、各年代で出会いを積み重ね、出会いの輪を広げながら、目指す姿を達成する。

【目指す姿】
 ○日々の目標に対し、能動的に生き、自らの可能性を広げることのできるひと

